

2021年7月26日

報道関係各位

Green Tokyo 研究会
一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会

総延長 1.8 kmの“座れる場所”がまちや人をつなぐ
一本一本の樹木情報や降雨予測、3種類のルート検索などが新登場

環境データを活用した快適な外歩き WEB サービス 「TOKYO OASIS」

社会実験を7月26日（月）より再始動

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり 3 団体（*）の一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会が事務局を担う Green Tokyo 研究会では、「緑」「GIS」「都市気象」「グリーンインフラ」に関連する民間企業や行政間等の連携により、都市環境の総合的な評価システムのプラットフォーム構築を目指しています。

今夏、Green Tokyo 研究会では、快適な外歩きを提案する WEB サービス「TOKYO OASIS」を昨夏に引き続き、7月26日（月）より大手町・丸の内・有楽町（以下、大丸有）^{だいまるゆう}地区にて再始動します。



「TOKYO OASIS」は、「大丸有環境アトラス（大丸有地区の環境情報等をデータベース化し、新たな価値の発信につなげる情報プラットフォーム）」をリアルタイムに可視化・シミュレーションし、快適に過ごせる空間（ルート・場所）の情報を発信する WEB サービスです。

昨夏の社会実験（2020年7月27日～10月6日）では、現在地から「OASIS SPOT（＝快適に過ごせる場所）」までの快適な日陰ルートを検索できるサービスを提案し、同時にサービス利用者にアンケートを実施しました。アンケート結果より、人によって「快適性」を感じる要素が多様なことから、快適の3つのキーワード「感じる」「つながる」「過ごす」が導き出されました。

今夏の再始動では、昨夏のサービス利用者の声を踏まえ、**（1）座れる場所の表示、（2）一本一本の樹木情報の表示、（3）30分先までの降雨予測、（4）3種類のルート検索（日なた／日陰／最短）の4つの新しい機能を追加**します。そして、昨年同様に利用者の声の収集・分析を継続しながら、まちと人をつなげ、新たなまちの魅力や価値の発見を通じて、持続可能なまちづくりを目指していきます。

大丸有地区に訪れた際には、ぜひ WEB サービス「TOKYO OASIS」をご活用ください。

（*）「一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（大丸有協議会）、NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会（リガーレ）一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツヅエリア協会）」の3団体は連携して大丸有地区のまちづくりを推進しています。

追加された4つの新しい機能

■ 機能1：座れる場所の表示 ～エリア内の座れる場所の長さは総延長 1.8 km～

昨夏のアンケート中で、まちの快適性として多くの支持を得たのが“座れる場所”。そこで、大丸有地区内の座れる場所全域を調査し、検索できる機能を追加しました。本調査にて、大丸有地区内には、約 700 基、総延長 1.8 kmの“座れる場所”があることがわかりました。

調査にご協力いただいた大学生の皆さんの座ってみた感想コメントや、日陰情報や降雨予報の機能をサービスに反映することで、より快適に空間を利用できるようになりました。



■ 表示される情報

座れる場所*の位置、長さ、設置数、座った感想コメント他

※大丸有地区内の屋外にある常設の座れる場所を対象

■ 機能2：一本一本の樹木情報の表示 ～木の働きが見えてくる～

大丸有地区の“緑の豊さ”の指標として、これまで本地区で調査された 4,000 本以上の樹木の中から、特に木の働きが見えやすい樹木約 3,500 本について、さらに詳細な調査を実施しました。

樹木情報として、位置、樹種、樹高、幹の太さのほか、炭素貯蔵量、CO₂ 吸収量などが、サービス上で見えるようになりました。

[機能開始：2021年8月上旬（予定）]

■ 表示される情報

樹木の位置、樹種、樹高、幹の太さ、炭素貯蔵量、CO₂ 吸収量他

■ 数値解析協力

炭素貯蔵量、CO₂ 吸収量の数値解析は、東邦レオ株式会社（Green Tokyo 研究会会員）開発のシステムにて実施



■ 機能3：30分先までの降雨予測 ～雨はいつごろ降り始める？もうすぐ止む？～

快適な外歩きに雨の情報は重要です。降雨情報があれば「雲行きがあやしいが雨はいつごろ降り始めるの？」「今降っている雨はもうすぐ止むの？」等が見通せるため、外歩きの選択肢が増えるのではないかと考えました。そこで、現在の雨の状況のほか、10分ごとに30分先までの降雨予測を期間限定で追加表示します。

[機能終了：2021年9月12日（予定）]

■ 表示される情報

250m×250mメッシュで現在、10分後、20分後、30分後の降雨予測



■ 機能4：3種類のルート検索（日なた／日陰／最短）～今の気分はどのルート？～

人によって「快適性」を感じる要素は多様なため、「夏は日陰ルートが快適」といった声だけではなく、「冷房で冷え切ってしまったので、気分転換にちょっと“日なた”を歩きたい」等の好みに応じて「選べる」ルート検索が重要ではないかと考え、日なたルート検索を追加しました。今後も、利用者の声を元に様々なルート検索機能を追加していく予定です。

■ 追加された検索機能

「OASIS SPOT（＝快適に過ごせる場所）」までの日なたが多い／日陰が多い／距離が短いルート



TOKYO OASIS について

- ✓ 座れる場所を表示 ✓ 一本一本の樹木情報を表示 ✓ 30分先までの降雨情報を表示
 - ✓ 「OASIS SPOT（＝快適に過ごせる場所）」までの快適なルート（日なた／日陰／最短）を検索
 - ✓ 使用料無料 ✓ 五か国語に対応予定：日本語/英語/中国語/韓国語/スペイン語
 - ✓ 登録不要 ✓ サイトを開いてすぐ使える
 - ✓ 対応エリア：大丸有地区
 - ✓ 利用者アンケート実施（利用者ともちをつなぎ、サービス発展やまちづくりにフィードバック）
- 「TOKYO OASIS」URL はこちら：<https://tokyooasis.com>



Green Tokyo 研究会とは？

2019年9月に東京大学大学院工学系研究科 横張真教授を会長とし、「緑」「GIS」「都市気象」「グリーンインフラ」に関連する民間企業や行政間の連携を元に設立した研究会です。事務局を務める「一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツェリア協会）」では、環境情報プラットフォーム「大丸有環境アトラス」の構築を進めてきました。Green Tokyo 研究会では、この「大丸有環境アトラス」をベースとして、2019年度国交省スマートシティモデル事業における大丸有地区のスマートシティビジョン・実行計画にも位置付けられる「TOKYO OASIS」や樹木・緑地の価値評価に向けたデータベースの作成等を推進しています。

【研究会の会員】

- ・東京大学 大学院工学系研究科 都市工学専攻 教授 横張 真 [会長]
- ・筑波大学 システム情報系 教授 村上 暁信
- ・一般社団法人いきもの共生事業推進協議会（ABINC）
- ・株式会社 IHI
- ・株式会社 プレック研究所
- ・気象予報士 根本 美緒
- ・NPO 法人 Green Connection TOKYO
- ・The Davey Tree Expert Company
- ・清水建設株式会社 技術研究所
- ・東邦レオ株式会社
- ・Pacific Spatial Solutions 株式会社
- ・一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツェリア協会） [事務局]
- ・株式会社 三菱地所設計

順不同・敬称略

過去の TOKYO OASIS に関するプレスリリース

- ・環境データを活用した快適な外歩き WEB サービス「TOKYO OASIS」社会実験を7月27日（月）より開始（2020年7月22日配信）

<https://www.ecozzeria.jp/topics/daimaruyu/tokyo-oasis-0727.html>

- ・「みどりをつくる」から「みどりがつくる」時代へ まちの快適ってなんだろう？ アンケートで見えてきたのは「みどりがつなぐをつくる」（2021年4月6日配信）

<https://www.ecozzeria.jp/topics/daimaruyu/tokyo-oasis210406.html>

【ご参考】「Marunouchi Street Park 2021 Summer」(2021年8月2日～9月12日)について
「Marunouchi Street Park」は、2019年からスタートした、丸の内仲通りの今後のあり方や活用方法を検証する社会実験です。これまで、丸の内仲通りに天然芝を敷いた緑あふれる公園空間を創出し、通りの役割や季節ごとの可変性を探ってまいりました。

3年目となる今年は「人」中心の道路をキーワードとし、春・夏・冬の3回の実施を予定しています。今回は「つながろう、夏のストリート」をテーマに掲げ、新型コロナウイルスの影響が落ち着かない中、安心・安全を重視しながら、来街者に憩いとくつろぎの空間を提供します。

「TOKYO OASIS」は、本プロジェクトを期間限定の「OASIS SPOT」として紹介する予定です。

※Marunouchi Street Park ホームページ URL : <https://marunouchi-streetpark.com/>

プレスリリース「Marunouchi Street Park 2021 Summer」（2021年7月26日配信）

URL : https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec210726_marunouchi_street_park.pdf

【ご参考】大丸有 SDGs ACT5 の実施について



2020 年からスタートした、大丸有地区を起点に SDGs 達成に向けた多様な活動を推進する「大丸有 SDGs ACT5」。

取り組み 2 年目となる今年は、5 月 10 日（月）から 11 月 30 日（火）の約 7 ヶ月間をコア期間として、「サステナブルフード」「気候変動と資源循環」「WELL-BEING」「ダイバーシティ & インクルージョン」「コミュニケーション」の 5 つのテーマで多様なアクションを展開します。2030 年の SDGs 目標達成に向けて、企業や団体の枠を超え、街ぐるみでの SDGs にチャレンジします。

「TOKYO OASIS」は、本プロジェクトのアクションの一つに位置付けられ、持続可能なまちのあり方を「快適性」というキーワードで検証します。「TOKYO OASIS」のアンケートにご回答いただいた方には、大丸有 SDGs ACT5 の公式アプリ「ACT5 メンバーポイントアプリ」で使えるポイントを 100 ポイントプレゼントします。

※大丸有 SDGs ACT5 ホームページ URL : <https://act-5.jp/>

※大丸有 SDGs ACT5 公式アプリ「ACT5 メンバーポイントアプリ」 URL : <https://mb.act-5.jp/>

【ご参考】大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり 3 団体について

大手町・丸の内・有楽町地区は、公民協調によるサステナブル・ディベロップメントを通じて、約 120ha のまち全域で「新しい価値」「魅力と賑わい」の創造に取り組んでいます。

大丸有まちづくり協議会を中心に公民でまちの将来像を合意し、リガールが賑わいや都市観光を促進、エコツェリア協会が社会課題の解決や企業連携によるビジネス創発を具体化しています。

※まちづくり 3 団体 ホームページ URL : <https://tokyo-omy.jp/>

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区
まちづくり協議会 (大丸有まちづくり協議会)

再開発・街づくり・地権者合意形成

大丸有地区の地権者を会員とし、エリアの付加価値を高め、
東京の都心において持続的な発展に向けた取り組みを行っています。



一般社団法人 大丸有環境共生型
まちづくり推進協会 (エコツェリア協会)

サステナビリティ/Research & Development/環境共生

「経済」「環境」「社会」がバランスよく共存するまちを目指して、
大丸有地区に集う企業・就業者のコミュニティ形成や、
次世代への持続可能なビジネス創発に取り組んでいます。

NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会
(リガール)

エリアマネジメント運営

道路を始めとした公的空間の活用や、交流・環境などの活動を通じて、
大丸有地区のブランド向上に取り組んでいます。

【一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会 (エコツェリア協会) について】



2007 年設立。エコツェリア協会では、会社でも自宅でもない第 3 の場所「3×3Lab Future」を拠点として、「経済」「環境」「社会」をテーマに大手町・丸の内・有楽町 (大丸有) 地区のまちづくりを推進しています。大丸有地区に集う企業・就業者のコミュニティ形成や、次世代のサステナブルな社会の実現に向けて、未来につながる持続可能なビジネス創発に取り組んでいます。

※エコツェリア協会ホームページ URL : <https://www.ecozzeria.jp/>

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

大手町・丸の内・有楽町地区街づくり PR 事務局 共同ピーアール(株) PR アカウント本部 9 部 担当 : 前山・内山・高橋
TEL : 070-4303-7327 / 070-4303-7311 FAX : 03-6260-6653 E-mail : tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp